

「特殊詐欺に関する世論調査」の概要

平成29年3月
内閣府政府広報室

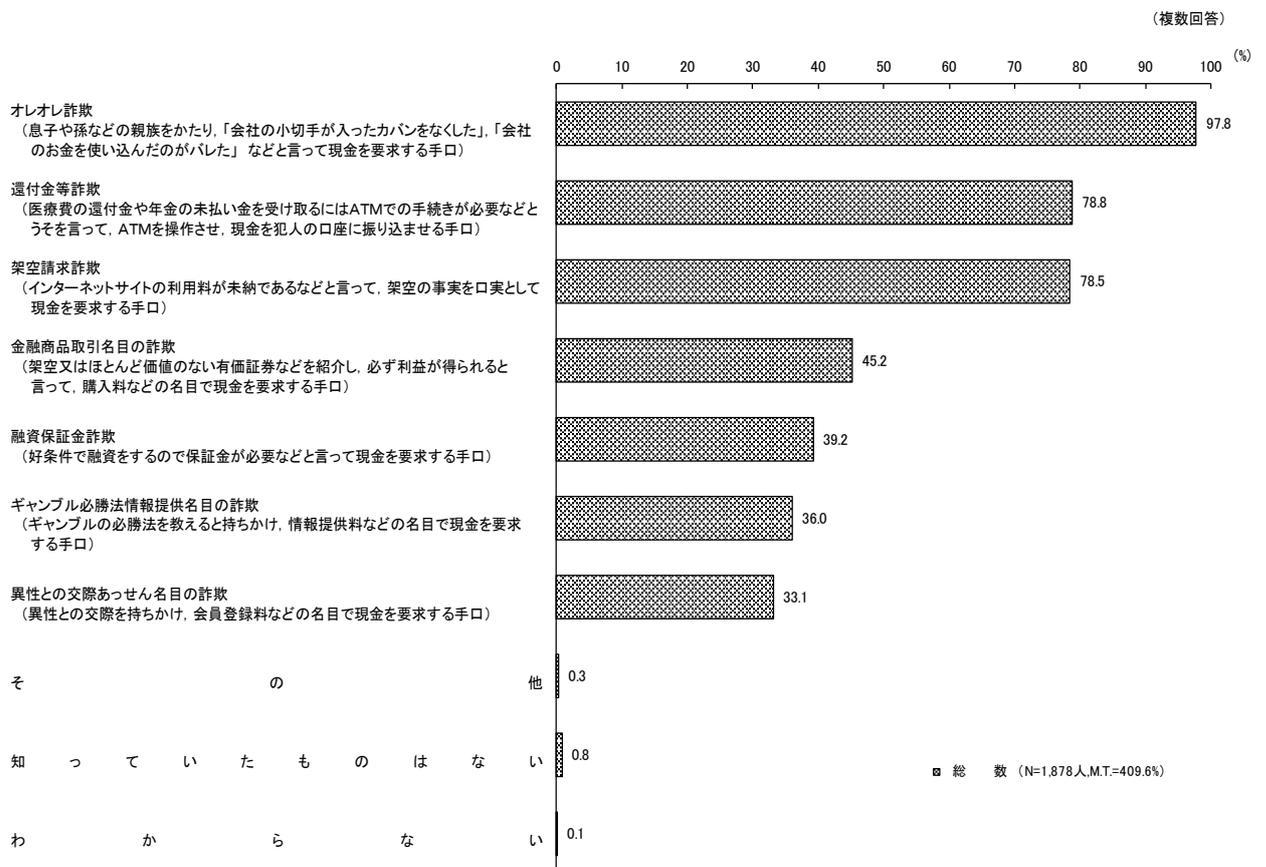
- 調査対象 全国18歳以上の日本国籍を有する者 3,000人
有効回収数 1,878人（回収率62.6%）
- 調査時期 平成29年1月12日～1月22日（調査員による個別面接聴取）
- 調査目的 特殊詐欺に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
- 調査項目
- 1 特殊詐欺についての認知度
 - 2 特殊詐欺に対する意識
 - 3 特殊詐欺の被害防止対策に関する意識
 - 4 被害防止対策に関する要望等

1 特殊詐欺についての認知度

(1) 特殊詐欺の手口の認知度

問1 現在、さまざまな手口の特殊詐欺が現れています。あなたは、特殊詐欺の手口としてどのようなものを知っていましたか。知っていたものをこの中からいくつでもあげてください。(複数回答)

- (上位4項目)
- ・ オレオレ詐欺 97.8%
- ・ 還付金等詐欺 78.8%
- ・ 架空請求詐欺 78.5%
- ・ 金融商品取引名目の詐欺 45.2%



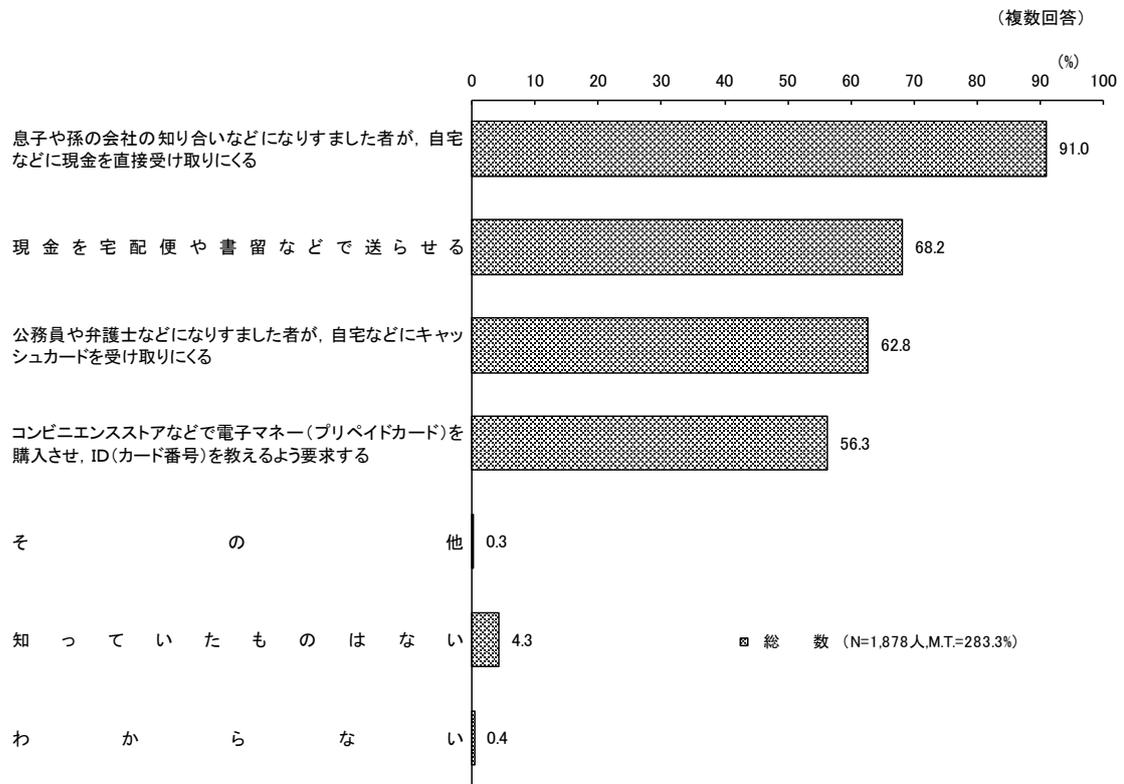
参考: 年齢別にみた「特殊詐欺の手口の認知度」(上位4位)

	特殊詐欺の手口			
	オレオレ詐欺	還付金等詐欺	架空請求詐欺	金融商品取引名目の詐欺
	%	%	%	%
18 ~ 29 歳	98.2	60.1	92.6	31.3
30 ~ 39 歳	98.2	79.6	94.2	44.2
40 ~ 49 歳	99.0	82.3	91.7	47.3
50 ~ 59 歳	97.7	86.0	84.1	50.2
60 ~ 69 歳	97.5	81.9	74.2	48.6
70 歳以上	96.9	75.3	58.4	42.9

(2) 振り込み以外の手段の認知度

問2 特殊詐欺の犯人が現金をだまし取る手段は、銀行口座に振り込ませるだけではありません。犯人がだまし取る手段として、あなたが知っていたものをこの中からいくつでもあげてください。(複数回答)

- ・ 息子や孫の会社の知り合いなどになりすました者が、自宅などに現金を直接受け取りにくる 91.0%
- ・ 現金を宅配便や書留などで送らせる 68.2%
- ・ 公務員や弁護士などになりすました者が、自宅などにキャッシュカードを受け取りにくる 62.8%
- ・ コンビニエンスストアなどで電子マネー（プリペイドカード）を購入させ、ID（カード番号）を教えるよう要求する 56.3%



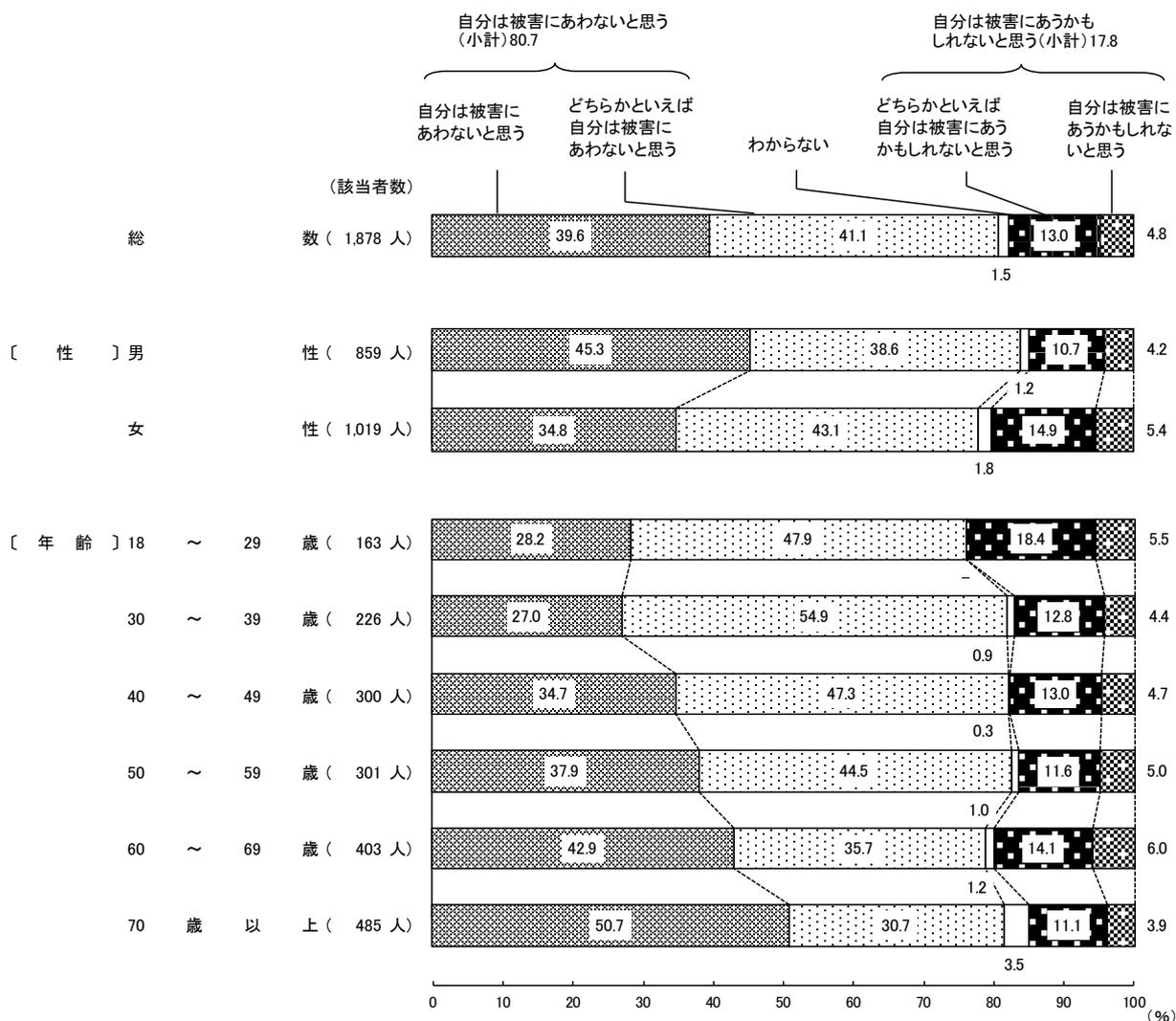
参考: 年齢別にみた「振り込み以外の手段の認知度」

年齢	認知率 (%)			
	息子や孫の会社に知り合いになりすました者が、自宅などに現金を直接受け取りにくる	現金を宅配便や書留などで送らせる	公務員や弁護士などになりすました者が、自宅などにキャッシュカードを受け取りにくる	コンビニエンスストアなどで電子マネー（プリペイドカード）を購入させ、ID（カード番号）を教えるよう要求する
18 ~ 29 歳	84.7	50.3	52.1	66.9
30 ~ 39 歳	92.0	68.1	64.6	59.7
40 ~ 49 歳	93.7	72.7	65.3	57.7
50 ~ 59 歳	94.0	72.1	72.4	62.8
60 ~ 69 歳	93.5	75.2	63.0	58.3
70 歳以上	87.0	63.3	57.7	44.7

2 特殊詐欺に対する意識
 (1) 特殊詐欺に対する意識

問3 特殊詐欺に対するあなたの意識について、最も近いものはどれですか。この中から1つだけお答えください。

- ・ 自分は被害にあわないと思う (小計) 80.7%
 - ・ 自分は被害にあわないと思う 39.6%
 - ・ どちらかといえば自分は被害にあわないと思う 41.1%
- ・ 自分は被害にあうかもしれないと思う (小計) 17.8%
 - ・ どちらかといえば自分は被害にあうかもしれないと思う 13.0%
 - ・ 自分は被害にあうかもしれないと思う 4.8%

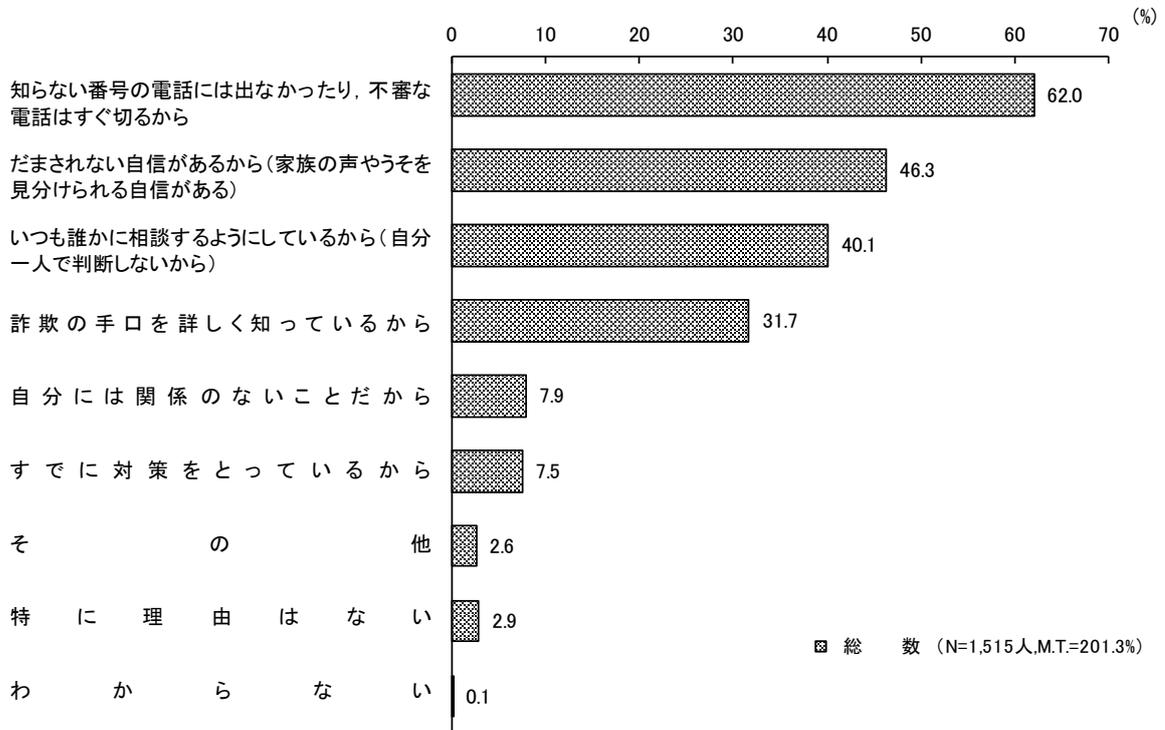


更問 被害にあわないと思う理由

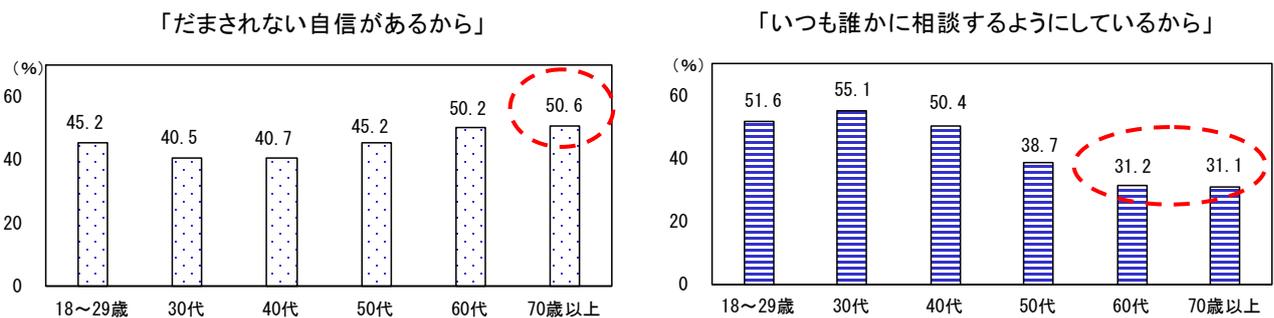
更問 (問3で「自分は被害にあわないと思う」、「どちらかといえば自分は被害にあわないと思う」と答えた方(1,515人)に)
なぜそう思いますか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

- (上位4項目)
- ・知らない番号の電話には出なかったり、不審な電話はすぐ切るから 62.0%
 - ・だまされない自信があるから (家族の声やうそを見分けられる自信がある) 46.3%
 - ・いつも誰かに相談するようにしているから (自分一人で判断しないから) 40.1%
 - ・詐欺の手口を詳しく知っているから 31.7%

特殊詐欺に対する意識について最も近いものとして、「自分は被害にあわないと思う」、「どちらかといえば自分は被害にあわないと思う」と答えた者に、複数回答



参考: 年齢別にみた「被害にあわないと思う理由」



3 特殊詐欺の被害防止対策に関する意識

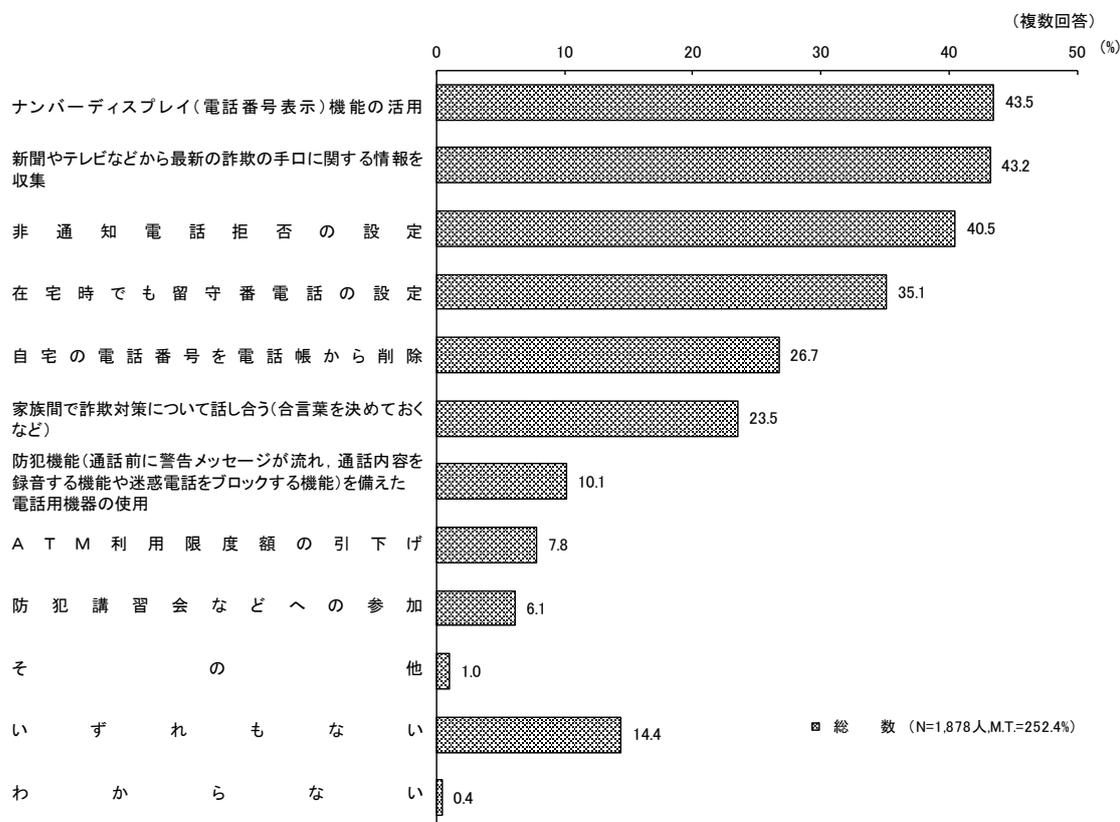
(1) 被害防止対策に関する意識

問4 あなたは、この中にある被害防止対策で行ってみたいもの、あるいはすでに行っているものはありますか。いくつでもあげてください。(複数回答)

(上位4項目)

- ・ ナンバーディスプレイ (電話番号表示) 機能の活用 43.5%
- ・ 新聞やテレビなどから最新の詐欺の手口に関する情報を収集 43.2%
- ・ 非通知電話拒否の設定 40.5%
- ・ 在宅時でも留守番電話の設定 35.1%

- ・ いずれもない 14.4%



参考: 年齢別にみた「被害防止対策に関する意識」

(複数回答)

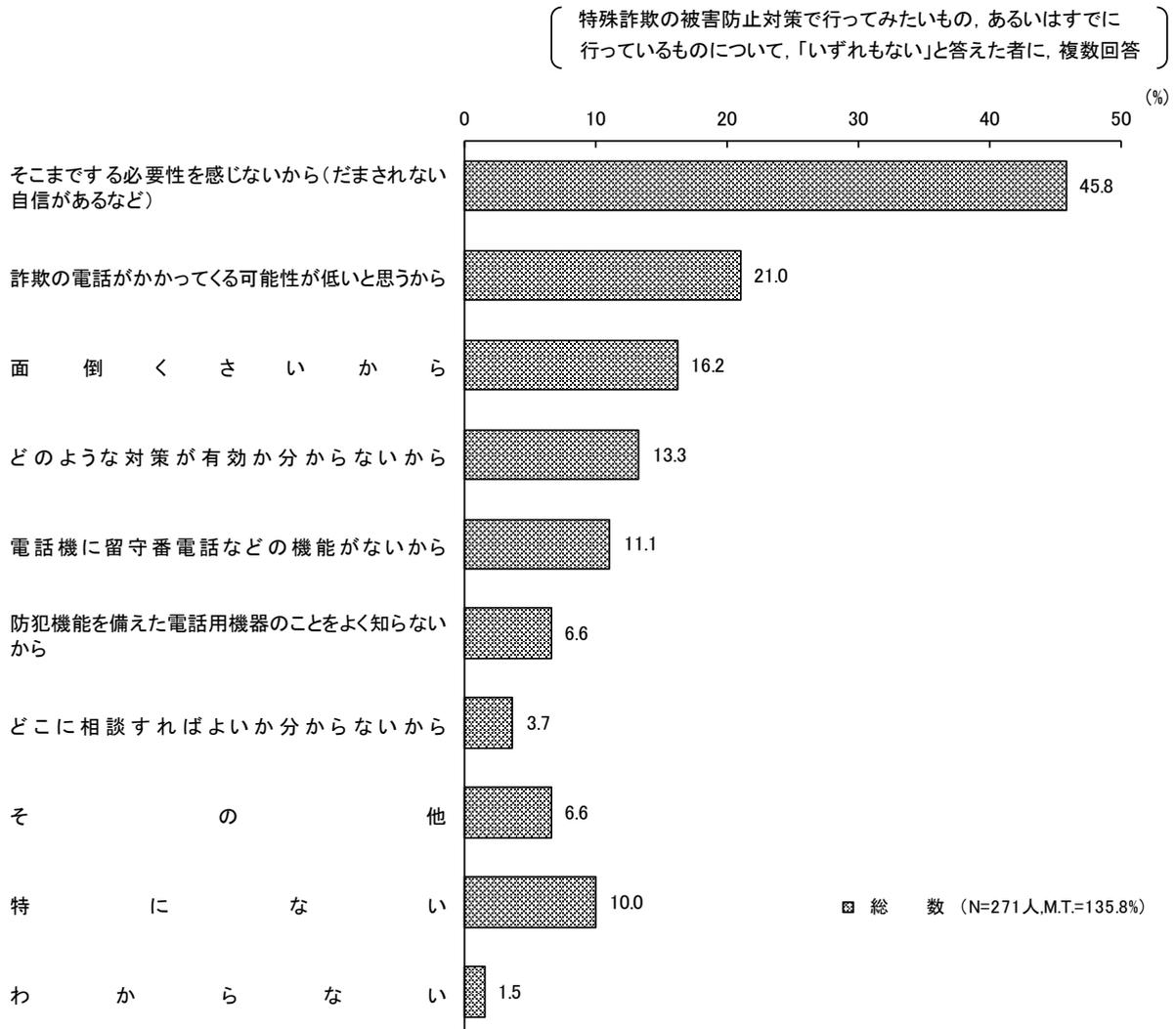
年齢	ナンバーディスプレイの活用 (%)	最新情報やテレビなどから収集 (%)	非通知電話拒否 (%)	在宅時留守番電話 (%)	自宅の電話番号を削除 (%)	家族間で話し合う (%)	防犯機能の備えた機器使用 (%)	A T M 利用限度額引下げ (%)	防犯講習会などへの参加 (%)	その他 (%)	いずれもない (%)	わからない (%)	計 (M.T.) (%)
18 ~ 29 歳	42.3	33.1	47.2	25.2	8.6	19.6	14.7	6.7	3.1	-	18.4	0.6	219.6
30 ~ 39 歳	45.6	50.0	54.9	30.1	21.7	23.9	10.2	11.9	2.7	0.4	12.4	1.3	265.0
40 ~ 49 歳	57.0	43.0	49.3	39.3	36.0	25.7	12.7	9.7	5.3	0.3	8.7	-	287.0
50 ~ 59 歳	54.5	47.5	48.2	40.2	40.5	22.3	12.0	9.0	5.6	1.0	7.6	0.3	288.7
60 ~ 69 歳	43.4	46.7	39.2	40.0	27.0	23.8	10.9	8.2	7.4	1.2	11.9	-	259.8
70 歳以上	27.8	37.9	22.5	31.1	20.6	23.7	5.2	4.1	8.2	1.6	23.9	0.6	207.4

更問 被害防止対策を行わない理由

更問 (問4で「いずれもない」と答えた方(271人)に)
その理由は何ですか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位4項目)

- ・そこまでの必要性を感じないから(だまされない自信があるなど) 45.8%
- ・詐欺の電話がかかってくる可能性が低いと思うから 21.0%
- ・面倒くさいから 16.2%
- ・どのような対策が有効か分からないから 13.3%
- ・特にない 10.0%

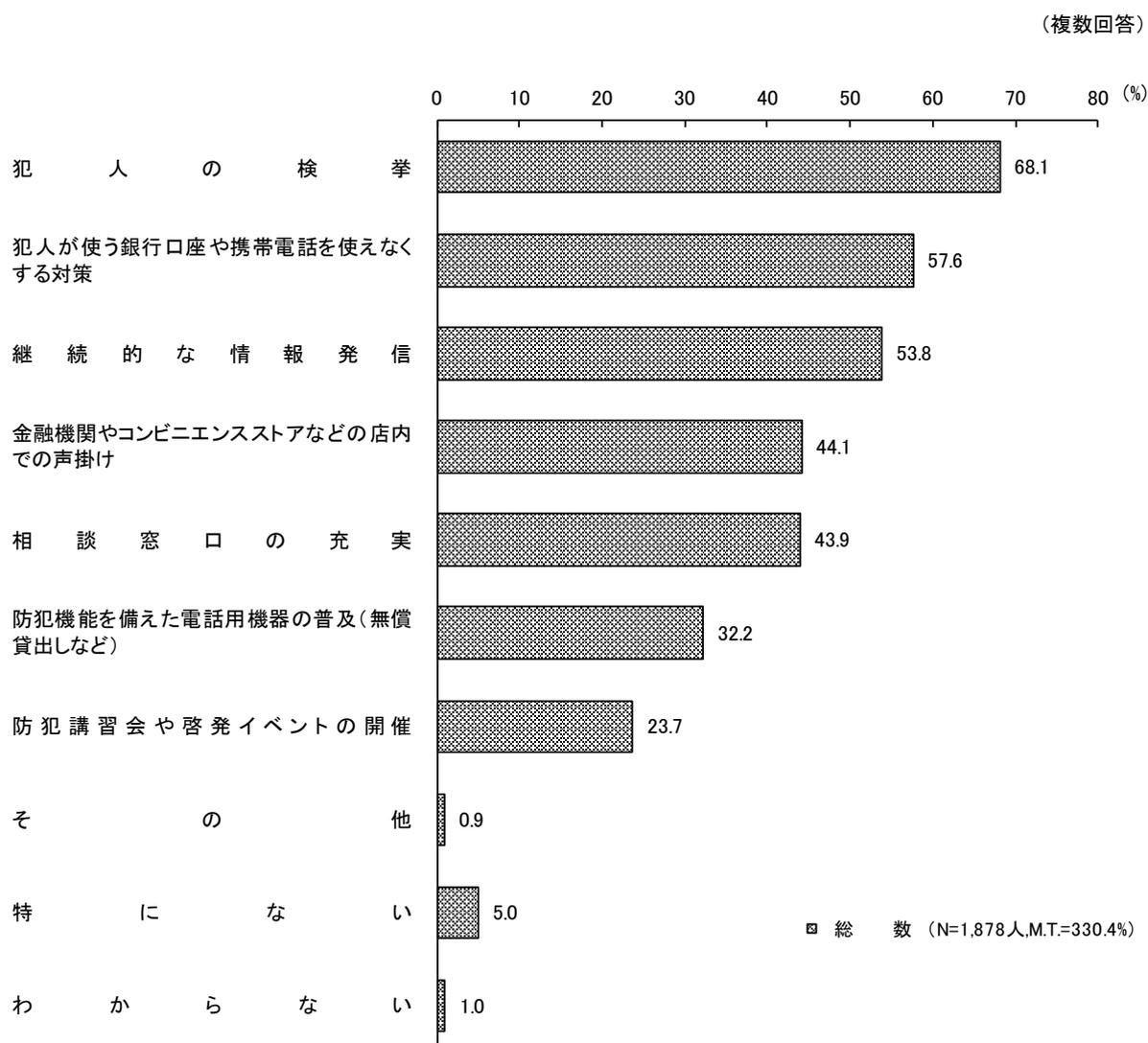


4 被害防止対策に関する要望等

(1) 警察や自治体などに力を入れて欲しいこと

問5 あなたは、特殊詐欺の被害防止対策として、警察や自治体などに今後特に力を入れて欲しいことは何ですか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

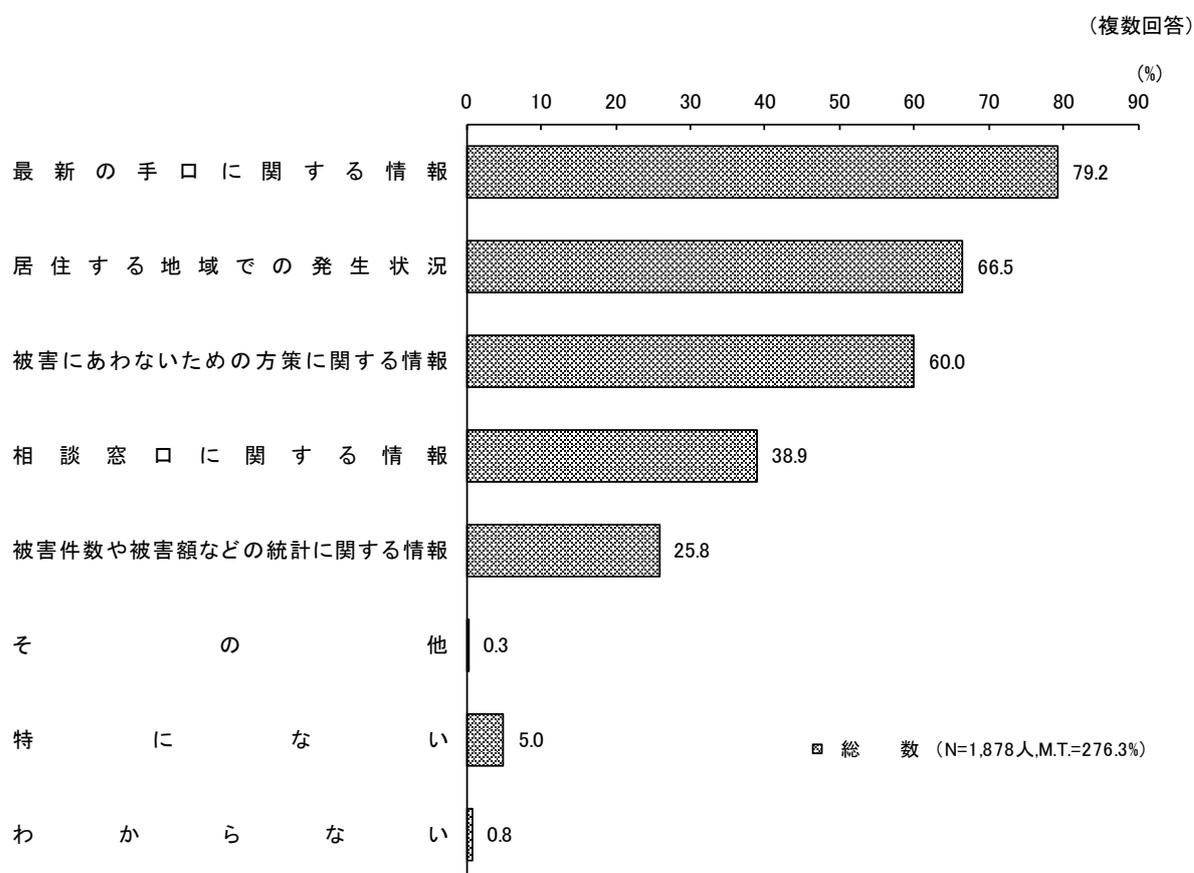
- (上位4項目)
- ・ 犯人の検挙 68.1%
 - ・ 犯人が使う銀行口座や携帯電話をええなくする対策 57.6%
 - ・ 継続的な情報発信 53.8%
 - ・ 金融機関やコンビニエンスストアなどの店内での声掛け 44.1%



(2) 警察や自治体などから得たい情報

問6 あなたは、特殊詐欺に関して、警察や自治体などから、どのような情報が提供されたらよいと思いますか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

- | | |
|---------------------|---------|
| | (上位4項目) |
| ・最新の手口に関する情報 | 79.2% |
| ・居住する地域での発生状況 | 66.5% |
| ・被害にあわないための方策に関する情報 | 60.0% |
| ・相談窓口に関する情報 | 38.9% |



(3) 特殊詐欺に関する情報の発信方法

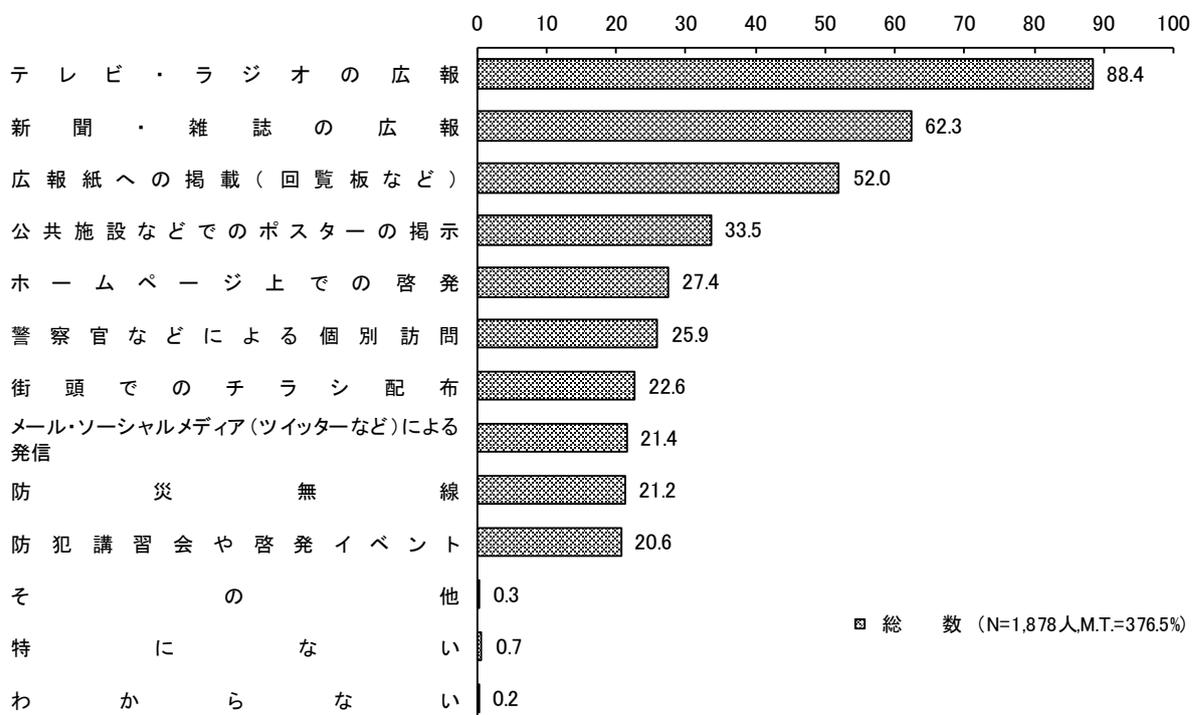
問7 あなたは、特殊詐欺に関する情報をどのように提供されたらよいと思いますか。
この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

- ・テレビ・ラジオの広報 88.4%
- ・新聞・雑誌の広報 62.3%
- ・広報紙への掲載(回覧板など) 52.0%
- ・公共施設などでのポスターの掲示 33.5%

(上位4項目)

(複数回答)

(%)



参考: 年齢別にみた「特殊詐欺に関する情報の発信方法」

(複数回答)

年齢	テレビ・ラジオの広報 (%)	新聞・雑誌の広報 (%)	広報紙への掲載 (%)	公共施設などでのポスターの掲示 (%)	ホームページ上での啓発 (%)	警察官などによる個別訪問 (%)	街頭でのチラシ配布 (%)	メール・ソーシャルメディアによる発信 (%)	防災無線 (%)	防犯講習会や啓発イベント (%)	その他 (%)	特にない (%)	わからない (%)	計 (M.T.)
18 ~ 29 歳	82.2	50.9	38.0	33.1	<u>42.3</u>	17.2	17.2	<u>47.2</u>	17.2	10.4	-	-	-	355.8
30 ~ 39 歳	89.4	64.6	53.1	36.7	<u>47.3</u>	22.6	24.8	<u>42.9</u>	20.8	19.5	-	-	-	421.7
40 ~ 49 歳	87.7	67.0	56.7	43.7	<u>40.3</u>	26.3	24.3	<u>30.3</u>	20.0	22.0	-	0.3	0.3	419.0
50 ~ 59 歳	90.7	<u>70.1</u>	60.5	40.5	<u>33.9</u>	29.9	30.6	23.6	22.3	26.9	0.7	0.3	0.3	430.2
60 ~ 69 歳	<u>91.6</u>	63.3	56.6	33.0	22.1	27.5	27.8	11.7	24.6	25.8	-	0.2	-	384.1
70 歳以上	86.4	56.5	44.3	21.9	5.4	26.4	13.2	3.7	20.2	15.3	0.8	2.1	0.4	296.5